

発行:株式会社北海道しんきん情報サービス 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811



TOPICS.1

去る6月12日(火)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席(委任状出席1金庫含)をいただき、第18回定時株主総会を開催いたしました。

第18回定時株主総会開催

当日は、第17期(平成29年度)事業報告に引き続いで、第1号議案の第17期(平成29年)貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件、第2号議案の剰余金の処分の件、第3号議案の任期満了に伴う取締役および監査役選任の件、第4号議案の取締役・監査役報酬総額決定の件、第5号議案の株式分割の件についてご審議いただき、原案通り承認されました。なお、会議に先立ち、増田社長から次のとおりご挨拶がございました。

挨拶内容

総会シーズンでご多用の中、第18回定時株主総会にご出席いただき誠にありがとうございます。日頃は、当社の業務運用につきまして、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

第17期決算は、売上高が8億9,200万円、対前年比では1,200万円減少し、当期純利益は1,100万円、対前年比は1,200万円減少いたしました。いずれも減少とはなりましたが、期中に利用額に応じて総額2,000万円の値引きを実施いたしましたので、これを考慮すると満足の出来る結果であろうと考えております。

当社の現状といしましては、共同センターの統合という大きな出来事によって多くの人材を送り出したことから、人的課題はあるものの、地域に根ざした道内信用金庫の情報サービス会社としてその役割を果たしつつ、漸く安定した経営体質になったと感じ

ます。改めまして皆様のご協力に感謝申し上げる次第でございます。

一方、信用金庫を取り巻く状況といしましては、マイナス金利政策も3年目になり、株主信用金庫の収益は一段と厳しさを増しております。金融行政当局からも効率化・共同化等によるコスト削減を求められており、他方ではAIによる技術革新やフィンテック等、予想以上の速さで進む環境の変化への対応も迫られております。こうした株主信用金庫の課題解決に向けて、当社もその一端を担うべく、全国7つの情報サービス会社と連携を強化し、より低廉かつ質の高いサービスの提供と業界最適化を実現するため、一層の共同化への道を模索していく必要があると考え、努力して参る所存にございますので、道内の株主信用金庫の皆様には引き続きご協力を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

取締役
および
監査役

代表取締役社長 増田正二	(帯広信用金庫会長)
代表取締役副社長 藤谷直久	(道南うみ街信用金庫理事長)
代表取締役専務 竹谷信行	
代表取締役常務 武田大二郎	
取締役 石田芳人	(苫小牧信用金庫会長)
取締役 館崎雄二	(伊達信用金庫理事長)

取締役 山田隆秀	(室蘭信用金庫理事長)
取締役 熊尾憲昭	(空知信用金庫理事長)
取締役 伴道弘	(網走信用金庫理事長)
取締役 池田達哉	
監査役 大沼孝司	(日高信用金庫理事長)
監査役 伊藤修治	(北海道信用金庫協会 専務理事)

TOPICS.2

INTERVIEW

信用金庫インタビュー

第2回

稚内信用金庫



稚内信金 事務管理部の皆様写真

■ シンクライアントシステム

当社シンクライアントシステムは、現在3金庫にご利用いただいており、稚内信金様は道内初の導入金庫でした。導入の経緯・効果等をお聞かせください。

情報漏洩の防止、サイバー攻撃対応、PCの運用管理コストの低減等の理由からシンクライアントシステムを導入したいと考えシステムベンダーを探していたところ、HSISがサービスを開始すると知り導入を決めました。平成26年の導入から4年経ちましたが、従来のPCのように端末個別にかかる手間とコストについても確実に減ったと感じます。また、HSISの堅牢なデータセンターにサーバがあるのでファシリティレベルも高く、BCP対策にもなっています。

HSISのシンクライアントシステムは、金庫数が増えれば費用が低減されるメリットもあるので、今後の展開に期待しています。

■ アンパンマンキャラクター共同調製

アンパンマンの親しみやすいキャラクターの特性を活かし、信用金庫のイメージアップ、預金獲得等に寄与するグッズの共同調製を実施しております。道内では唯一、稚内信金様にご利用いただいております。

当金庫では通帳・証書等の他、ポスター・チラシなどの各種販促品を各店舗で展開しております。また、アンパンマンお絵かき大会イベントの実施や、新入学へ交通安全ハンカチの贈呈、定期積金をご契約いただいたお客様へオリジナルのアンパンマングッズをお渡しする等、様々な場面で活用しております。お子様のいる親世代を中心に入気があり、新規顧客獲得にも繋がっています。



オリジナルアンパンマングッズ

■ システム検討委員会での会議室のご提供

全道信用金庫間の連携と協調の場である委員会活動に多大なるご理解とご協力をいただき、毎回快く会場のご提供をいただいております。

本紙面をお借りして、改めて心より感謝申し上げます。



委員会の様子(第5回システム検討委員会)

文書公開管理システム(DocLAN-S)のご提供

信用金庫の規程集、マニュアルなどの業務文書の効率的な管理をサポートする文書公開管理システムのご提供を開始いたします。

本システムをご導入いただることにより、大きく次のようなメリットがございます。

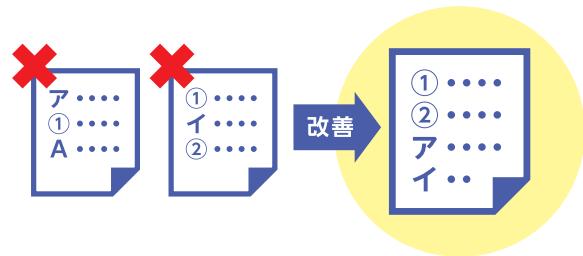
1 登録文書のバージョンを管理

改訂の都度過去版をバージョンとして管理しており、管理画面でいつでも全バージョンを確認できます。更に、変更、追加、削除された箇所を自動検知して色付きで表示される新旧比較機能を搭載しております。



2 文書の体裁を統一化

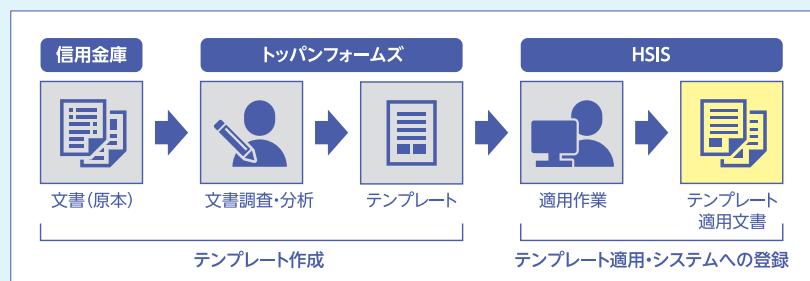
用紙サイズや余白、各段の見出し文字のサイズ・順序、行間、行揃えなどの細かいレイアウトも意識すること無く、また編集者に依存せず統一することが出来ます。



3 シンプルで使いやすい閲覧・検索機能

目次のツリー階層表示や更新状況の表示、多彩な検索機能(あいまい検索等)を備えており、すばやく簡単に目的の文書に辿り着けます。

本システムでは、HTML形式で公開するため、文書のレイアウトが崩れないよう、元データをテンプレートに適用させる作業がございますが、これらのコンテンツ作成作業・システム登録作業を当社が代行して請け負うことで導入時の金庫作業負担を大幅に軽減いたします。



本年8月から帯広信金様がご利用開始を予定しており、現在開始に向け準備を進めています。業務文書の作成から閲覧・更改までのトータルサポートが出来ますので、是非とも本システムのご導入ご検討のほどよろしくお願いいたします。

就任ご挨拶



代表取締役常務
武田 大二郎

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

去る6月12日に開催されました、定時株主総会におきまして、代表取締役常務に選任されました。

このような大任を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。

振り返りますと、北海道信金共同事務センター入所時より、全道の信用金庫役職員の皆様には、身に余るご厚意とご指導ご鞭撻をいただき、もとより浅学非才な私を温かく育てていただきましたこと、感謝の言葉もございません。

しんきん共同システム運営機構(当時)出向時には、全国の信用金庫の皆様とも交流を持つことができ、更にこの業界の素晴らしさを感じて帰任したことが、昨日のことのように思い出されます。

道内信用金庫を取り巻く環境は、大きな変化を見せております。

直近では日銀のマイナス金利政策や、長年にわたる少子高齢化、人口減少・過疎化という深刻な問題を抱え、収益状況については大変厳しい様相を呈していると認識しております。

このような状況下、情報サービス会社の使命である「信用金庫のシステムコストの低廉化」や「事務の効率化」等に一層寄与するよう、これからはより発展した共同化への道を探ることが必至と考えております。

更に当社は、単にシステムやサービスの提供者としての存在に留まらず、北海道内の各信用金庫に横串を通す役割を担っており、委員会活動等を通じてより一層金庫間の連携と、有効な情報の提供に寄与しなくてはなりません。

今後もあらゆる角度から各種サービスの幅を広げるよう研究に努め、更に皆様のご期待にお応えすべく、この地に密着した業界組織として発展させていく所存でございます。

一にも二にも、まずは皆様に愛される組織になるよう微力ながら専心職務に精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

TOPICS.5

相続業務支援システムユーザー会への参加

本年5月11日(金)、しんきん大阪システムサービス株式会社(OSS)主催の「相続業務支援システムユーザー会」が開催されました。本会は、同社が提供する共同利用型相続業務支援システムをご利用する金庫を対象とし、相続業務における相談や質問事項に関する情報交換を目的としております。

本システムは、大阪地区、東海地区(東海しんきんビジネス株式会社)および当北海道地区に展開され、現在23金庫が利用しており、本会にはうち15金庫が参加されました。(当地区利用3金庫のうち、今回は日高信金が参加されております。)

当日は、弁護士の中尾先生より「紛争との付き合い方～高齢者の生前出金を例に～」をテーマとした

貴重な講演があり、参加金庫の皆様は熱心に拝聴されました。また、金庫間ではシステムの活用法・運用方法や法制度への対応等について、大変活発な意見交換が行われました。

こうした会が定期的に開催されることで、法改正があった際の金庫業務対応にも非常に参考となる情報の収集が出来、更には他地区の金庫との意見交換が出来る貴重な機会にもなっており、本会はシステム導入後の心強いサポート的役割を担っています。今後も本会を通して金庫の相続業務をしっかり支援出来るよう、連携を密にして参ります。

TOPICS.6

展示会のご案内

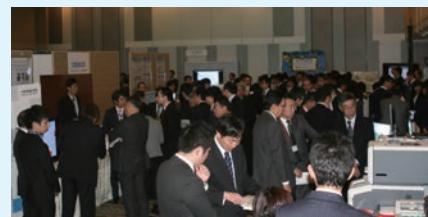
本年11月9日(金)に、当社展示会「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2018」を開催いたします。本展示会は隔年の開催しておりますが、今年がその開催年となります。前回同様各企業の皆様と連携し、当社が主力として提供しているサービスとともに、最新の金融情報システムについて展示、実演を

行います。今年度は、AIやRPAといった、信用金庫の経費削減・節減、事務処理の省力化・効率化等に繋がるであろう技術を、道内信用金庫の皆様に広くご覧になっていただくことを趣旨・目的として開催いたしますので、是非ともご来場賜りますよう心よりお待ちしております。

北海道しんきんネットワークエキシビジョン2018

開催日:2018年11月9日(金)

開催場所:ニューオータニイン札幌2階 鶴の間
札幌市中央区北2条西1丁目1番地



2016年展示会の様子

発行:株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811